

リンゴの「ふじ」着色系統に適した優良わい性台木「JM7」

リンゴの台木品種「JM7」は、従来のわい性台木品種「M9」と比較して、「ふじ」の着色系統を穂品種としたときに、樹体の生育に大きな差はないが、初期収量に優れ、糖度が有意に高く、着色も十分であったことから、神奈川県のリンゴわい化栽培における「ふじ」着色系統のわい性台木品種として有望である。なお、栽培管理は「M9」台「ふじ」と同様でよい。

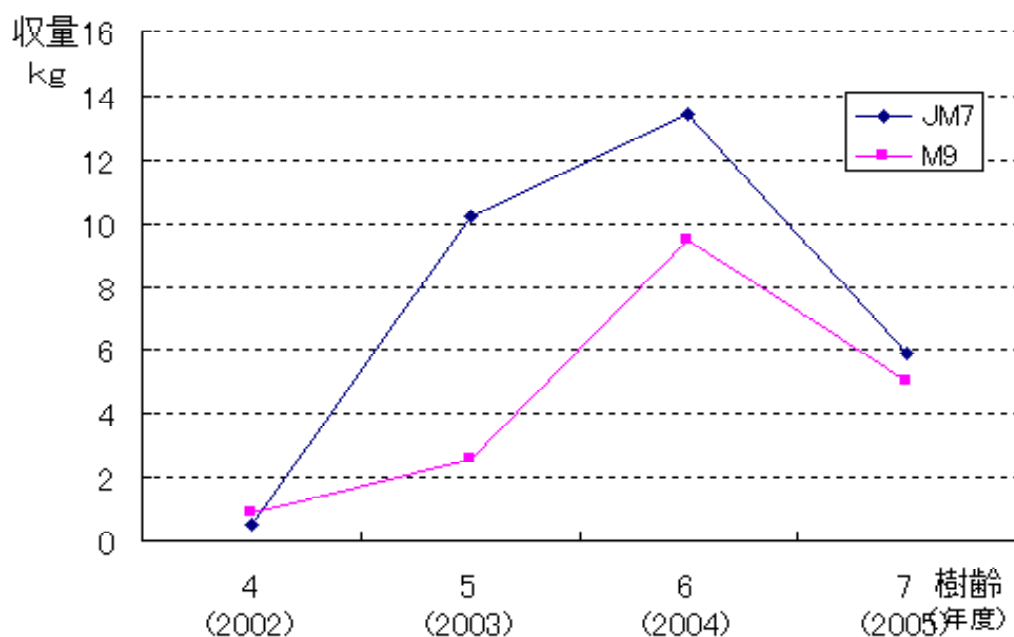


図1 「ハイランドふじ」の初期収量に及ぼす台木品種の影響

表1 「ハイランドふじ」の品質に及ぼす台木品種の影響 (2002~2005)

台木	一果重 g	硬度 ^z lb	屈折計示度 Brix%	リンゴ酸 g/100ml	果皮色 (C.C.)	地色 ^z (C.C.)
JM7	310.0	8.8	14.3	0.49	4.0	3.5
M9	289.2	8.5	13.2	0.46	3.6	3.1
有意性	n.s.	**	**	n.s.	n.s.	n.s.

^z 2005年度のデータ